大学・高専機能強化支援事業（支援１：学部再編等による特定成長分野への転換等に係る支援）
実施状況報告書

選定年度	令和7年度	学校コード	F123310106826	設置等組織名	医学部医工共創学科
大学名	藤田医科大学	設置区分	私立		
学校種	大学	都道府県	愛知	事業計画名	藤田医科大学 医学部 医工共創学科 設置計画

１.年度別の計画及び取組状況

年度別の事業計画と取組状況、自己評価を記載してください。
当初計画から変更又は追加した取組は赤字で記載し、計画変更の承認を受けた計画については、末尾に承認日を赤字で記載してください。
計画の進捗の遅れや実施困難な事項がある等、自己評価が下位2つの場合には、課題（理由）とその対応を記載してください。計画通りに実施できており、その他課題がない場合に限り記載は不要です。

事業期間	事業計画	取組状況	自己評価、課題（理由）とその対応
令和7年度	1-① 令和7年2月～ 本事業運営補助のため、医工学設置準備室等を設置、運営 1-② 令和7年4月～ 学生確保の見通しを調査するため、近隣の高校への調査を委託、実施 1-③ 令和7年7月～ 設置構想をブラッシュアップするため、複数企業等との協議を検討、実施 1-④ 令和7年7月～ 将来の学生確保に向け、広報用制作物を委託（デザイン、校正、動画作成）、パンフレット・リーフレット等を作製、媒体出稿を依頼 1-⑥ 令和7年7月～ 教育体制の整備及び多様な入学生の確保のため他大学及び近隣高校との連携強化 1-⑦ 令和7年7月～ 卒業後の社会における人材ニーズの調査を実施□ 2-⓪ 令和7年7月 本事業に係る改修工事のため、工事の基本計画図面の作成を設計会社へ依頼 1-⑤ 令和7年10月～ 認可申請支援のため、コンサルティング会社に委託（令和7年12月24日） 令和8年3月 認可申請□	1-① 令和7年2月～ 本事業運営補助のため、医工学設置準備室（令和8年4月から医学部事務部 学務課 医工共創学科・医工学社会共創研究科担当）を設置、運営 1-② 令和7年4月～ 学生確保の見通しを調査するため、近隣の高校への調査を委託、実施 1-③ 令和7年7月～ 設置構想をブラッシュアップするため、複数企業等との協議を検討、実施 1-④ 令和7年7月～ 将来の学生確保に向け、広報用制作物を委託（デザイン、校正、動画作成）、パンフレット・リーフレット等を作製、媒体出稿を依頼 1-⑥ 令和7年7月～ 教育体制の整備及び多様な入学生の確保のため他大学及び近隣高校との連携強化 1-⑦ 令和7年7月～ 卒業後の社会における人材ニーズの調査を実施□ 2-⓪ 令和7年7月 本事業に係る改修工事のため、工事の基本計画図面の作成を設計会社へ依頼 1-⑤ 令和7年10月～ 認可申請支援のため、コンサルティング会社に委託 令和8年3月 認可申請	令和7年度自己評価：【２】計画を十分には実施していない。 教育体制の整備及び多様な入学生の確保を目的として計画していた、「他大学及び近隣高等学校との連携強化に係るフォーラム」については、新学科の専任教員採用の遅れにより当初計画期間内での開催には至らなかった。しかし、令和8年度に入り教員採用が完了し、教育研究体制の整備が進んだことから、現在フォーラム開催に向けた準備を進めている。当該フォーラムでは、令和9年4月開設予定の医工共創学科の教育研究ビジョンを共有するとともに、医療界及び産業界との意見交換を通じて、「今後の医工共創の在り方」を探究する共創の場を構築することを目的として実施する。
令和8年度	1-① 令和7年7月から継続 本事業運営補助のため、医工学設置準備室等を運営 1-③ 令和7年7月から継続 設置構想をブラッシュアップするため、複数企業等との協議を検討、実施 1-④ 令和7年7月から継続 将来の学生確保に向け、広報用制作物を委託（デザイン、校正、動画作成）、パンフレット・リーフレット等を作製、媒体出稿を依頼 1-⑥ 令和7年7月から継続 教育体制の整備及び多様な入学生の確保のため他大学及び近隣高校との連携強化 1-⑦ 令和7年7月から継続 卒業後の社会における人材ニーズの調査を実施 2-① 令和8年4月～ 教室等整備のため、大学3号館、大学6号館、大学7号館、大学11号館を改修 2-② 令和8年4月～ 教室用ネットワーク設備を大学3号館、大学6号館、大学7号館に設置 2-③ 令和8年7月～ 教室等整備のため、大学3号館、大学7号館に機器備品を購入、設置		令和8年度自己評価：リストから選択してください。
令和9年度	令和9年4月 開設 3-① 令和9年4月～ 本事業運営補助のため、医工共創学科事務部を運営 3-② 令和9年4月～ 教育及び学術研究活動全般を支えるため、図書室の図書を追加購入 3-③ 令和9年4月～ 将来の学生確保に向け、広報用制作物を委託（デザイン、校正、動画作成）、パンフレット・リーフレット等を作製、媒体出稿を依頼 3-④ 令和9年4月～ 教育体制の整備及び多様な入学生の確保のため他大学及び近隣高校との連携強化 3-⑤ 令和9年4月～ 本学の医工学社会共創センターや産官学連携推進センター、キャリア教育センター等との協働による教育体制の整備 3-⑥ 令和9年4月～ 卒業後の社会における人材ニーズの調査を実施		令和9年度自己評価：リストから選択してください。
令和10年度	3-① 令和9年4月から継続 本事業運営補助のため、医工共創学科事務部を運営 3-② 令和9年4月から継続 教育及び学術研究活動全般を支えるため、図書室の図書を追加購入 3-③ 令和9年4月から継続 将来の学生確保に向け、広報用制作物を委託（デザイン、校正、動画作成）、パンフレット・リーフレット等を作製、媒体出稿を依頼 3-④ 令和9年4月から継続 教育体制の整備及び多様な入学生の確保のため他大学及び近隣高校との連携強化 3-⑤ 令和9年4月から継続 本学の医工学社会共創センターや産官学連携推進センター、キャリア教育センター等との協働による教育体制の整備 3-⑥ 令和9年4月から継続 卒業後の社会における人材ニーズの調査を実施		令和10年度自己評価：リストから選択してください。
令和11年度	3-① 令和9年4月から継続 本事業運営補助のため、医工共創学科事務部を運営 3-② 令和9年4月から継続 教育及び学術研究活動全般を支えるため、図書室の図書を追加購入 3-③ 令和9年4月から継続 将来の学生確保に向け、広報用制作物を委託（デザイン、校正、動画作成）、パンフレット・リーフレット等を作製、媒体出稿を依頼 3-④ 令和9年4月から継続 教育体制の整備及び多様な入学生の確保のため他大学及び近隣高校との連携強化 3-⑤ 令和9年4月から継続 本学の医工学社会共創センターや産官学連携推進センター、キャリア教育センター等との協働による教育体制の整備 3-⑥ 令和9年4月から継続 卒業後の社会における人材ニーズの調査を実施		令和11年度自己評価：リストから選択してください。
令和12年度	3-① 令和9年4月から継続 本事業運営補助のため、医工共創学科事務部を運営 3-② 令和9年4月から継続 教育及び学術研究活動全般を支えるため、図書室の図書を追加購入 3-③ 令和9年4月から継続 将来の学生確保に向け、広報用制作物を委託（デザイン、校正、動画作成）、パンフレット・リーフレット等を作製、媒体出稿を依頼 3-④ 令和9年4月から継続 教育体制の整備及び多様な入学生の確保のため他大学及び近隣高校との連携強化 3-⑤ 令和9年4月から継続 本学の医工学社会共創センターや産官学連携推進センター、キャリア教育センター等との協働による教育体制の整備 3-⑥ 令和9年4月から継続 卒業後の社会における人材ニーズの調査を実施		令和12年度自己評価：リストから選択してください。
認可申請 又は届出	令和8年3月 認可申請	令和8年3月 認可申請	
定員減又は 学部等の廃止			

フォローアップ対象年度	令和7年度	大学名	藤田医科大学

２.申請資格の確認

ⅰ） 学生募集停止中の大学
ⅱ） 学校教育法第109条の規定に基づき文部科学大臣の認証を受けた者による直近の評価の結果、「不適合」の判定を受けている大学
ⅲ）「私立大学等経常費補助金」において、定員の充足状況に係る基準以外の事由により、前年度に不交付又は減額の措置を受けた大学
ⅳ） 設置計画履行状況等調査において、「指摘事項（法令違反）」が付されている大学
ⅴ） 大学、短期大学及び高等専門学校の設置等に係る認可の基準（平成15年文部科学省告示第45号）第２条第１号又は第２号のいずれかに該当する者が設置する大学

上記項目の申請資格の状況について、プルダウンで選択してください。（プルダウンの選択肢：すべての項目に該当していない、右の○の項目に該当している）

申請資格の状況	ⅰ）	ⅱ）	ⅲ）	ⅳ）	ⅴ）
すべての項目に該当していない					

３.申請要件の取組状況

① 高等教育の修学支援新制度において、大学等における修学の支援に関する法律（令和元年法律第８号）に基づき、財務状況や収容定員充足率が適正であることを含めた要件を満たすことの確認を受けた大学であること。なお、新設予定の大学で、応募時点において、高等教育の修学支援新制度における要件確認の対象に該当しないものは、本要件は適用されない。□

② 十分な学生確保の見通しを備えた計画となっていること。

③ 産業界を含む社会のニーズ等を踏まえ、学修目標の具体化、体系的な教育カリキュラムの編成及び大学での学修に必要な資質・能力等を評価する入学者選抜が適切に実施され、そのための体制を構築する計画となっていること。（その際、国際的な質保証の枠組みを活用するなど出口における質保証にも十分留意することが重要。

④ 特定成長分野の人材を育成するための戦略、適切な管理・教育体制や教育研究環境の整備を図る計画となっていること。

⑤ 計画の対象となる学部等において、実務経験のある教員等による授業科目を配置する計画となっていること。

⑥ 特定成長分野に係る学部の設置等（学部若しくは学科の設置又は収容定員の増加）による組織の変更を伴う学部再編等の計画であること。

⑦-1 社会において具体的な人材ニーズが現に存在する、又は、その十分な見通しのある分野に係る学部等の設置等に取り組む計画であること。

⑦-2 学部又は学科の設置を行う場合、地域における特定成長分野の人材を必要としている複数の企業等と設置構想に関する事前協議を行う計画であること。

⑧ 入学定員が20名以上増加する計画であること。

⑨ 事業計画の選定があった日から４年を経過する日を含む年度の末日までに、計画の対象となる学部等の設置等を行うことを目指す計画であること。（本事業の申請時に既に設置認可申請又は届出を行っている場合を除く。）

⑩ 大学の総収容定員充足率（在籍学生数の収容定員に対する割合）について、計画の対象となる学部等の設置等に係る設置認可申請又は届出までに80%を満たす計画であること。

⑪ フェーズ３の助成期間終了時までに、大学全体の外部資金獲得額を申請時点の平均（過去５年間の中央値３年分の平均）に本事業による支援額の2.5%を上乗せした水準以上とする計画であること。

⑫ 計画の対象となる学部又は学科において、自大学以外の機関との連携を通じた教育体制の整備と教育の実施及び多様な入学者の確保に向けた取組を行う計画であること。

⑬ 選定された大学は、公募要領に定める申請要件を満たす質の高い教育等に向けた計画の具体化に努めるとともに、その進捗報告を行うこと。また、独立行政法人大学改革支援・学位授与機構法第十六条の三に規定する助成業務の実施に関する方針（令和５年４月13日文部科学大臣認可）六（２）②に基づき機構が実施する会議に参加すること。

⑭ 文部科学大臣から国際卓越研究大学として認定を受け、支援を受けている大学でないこと。

上記項目の①～⑬の申請要件について、　令和7年度　の取組の状況についてプルダウンで選択してください。（プルダウンの選択肢：すべての項目が要件を満たしている、右の○の項目の要件を満たしていない）

申請要件の状況	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦-1	⑦-2	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬
すべての項目が要件を満たしている														

①～⑬の要件を満たしていない又は対象ではない項目がある場合、左欄に該当する申請要件を選択し、右欄に課題（理由）とその対応について記載してください。

項目	課題（理由）

⑭については、現在の状況をプルダウンより選択してください。

申請要件⑭について	現在の状況
⑭文部科学大臣から国際卓越研究大学として認定を受け、支援を受けている大学でないこと。	認定を受けておらず申請する意向もない

４.審査要項における確認項目の計画及び取組状況

令和7年度 の取組実績を記載し、申請時に選択した項目にチェックを入れた計画を記載してください。取組実績は会社名や大学名、定量的なデータ等を示し具体的に記載してください。検討中であっても状況を記載してください。
計画の進捗の遅れや実施困難な事項がある場合には、課題（理由）とその対応を記載してください。計画通りに実施できており、その他課題がない場合に限り記載は不要です。

【A：連携を通じた教育体制の整備と実施】（連携開設科目等に限らない）

■ チェック　a.企業や自治体と連携した科目（PBL等）の整備・実施
■ チェック　b.関連分野に強みを持つ地域の他大学と連携した科目の整備・実施
■ チェック　c.関連分野に強みを持つ海外大学との連携（連携した科目や交換留学プログラムの整備・実施等）

申請時の計画	取組実績、進捗状況	課題（理由）とその対応
a：全員参加で実施するPBLによる実践型教育として、学生各自が学内に常駐する共同研究実施企業と共に課題を創造し、テーマ設定、研究計画の報告、および中間報告を行い、グループディスカッション形式により、報告に関する討論を行う。自治体との連携では、愛知県教育委員会と高大接続をイメージしながら、県下の高校生のキャリアパスをイメージできる実践的専門教育と国際性を身に付けるため、研究型インターンシップや企業からの実務型教員による授業カリキュラム、海外研修などのメニューを検討する枠組みを構築する。 b：令和6年４月よりMOUを締結した名古屋工業大学、令和4年8月から取り組んでいるC-DAMに参画する大学と、将来の医療を工学で支える者が求められるであろう機能を体得することを具現化するため、未来医療人材アクレディテーション部会を立ち上げ、それぞれの医工学に関する教育プログラムを高め合う仕組みを構築する。 c：本学部では、ネブラスカ大学メディカルセンター、チュラロンコン大学、コンケン大学とMOUを締結している。グローバルな視点を有した医工融合人材を具現化するため、この3大学と単位互換制度の仕組みを構築する。また、留学に先立ち英語による思考力、コミュニケーション能力、発信力などを高めるため、教養・専門科目において英語によるグループディスカッション、報告会の機会を設ける。	共同研究実施企業については、学内常駐による連携を視野に複数企業へ協力を打診しており、教育研究連携の具体化に向けた協議を進めている。また、愛知県内の高校生に対する実践的専門教育や国際性涵養に資する教育プログラムについては、本学キャリア教育センターを中心に、研究型インターンシップの実施に向けた検討を進めている。次に、大学間連携については、近隣大学との連携との協力体制を基盤として、教育プログラムの高度化に向けた意見交換を継続している。今後は、各大学の特色ある医工学教育プログラムを共有し、相互に発展させる仕組みの構築に向けて協議を進める予定である。海外連携大学との教育交流の具体化に向けた準備を進めている。本学の他学部において令和8年度の国際交流事業が開始されることを踏まえ、国際交流センターを中心として関係部署との調整を進めるとともに、ネブラスカ大学、チュラロンコン大学及びコンケン大学との連携強化や単位互換制度の実現可能性について検討を開始した。併せて、英語によるグループディスカッションやプレゼンテーション等を取り入れた教育内容についても検討を進めている。	

【B：多様な入学者の確保に向けた取組】

■ チェック　a.入学者選抜における科目の見直し
■ チェック　b.女子学生の確保（志願者数増）に向けた取組
■ チェック　c.地域の初等中等教育段階の学校との連携（出張授業の実施等）
□ チェック　d.社会人学生の受入れ強化に向けた取組（リカレント・リスキリングへの対応）
■ チェック　e.留学生の受入れ強化に向けた取組

申請時の計画	取組実績、進捗状況	課題（理由）とその対応
a：多様性確保に向けた入学者選抜を実施するため、入試制度、科目設定等についての検討を行う。 b：在学生の男女比比率を１：１とすることを目指している。未来の医療の現場において、両性に関して平等に思考することが当然だからである。国家資格取得を目指さないコースであるため、現在の資格取得をキャリアパスとして設定できるコースとは異なるため、女子学生の募集に注力する必要があると考えている。その為、中高一貫の女子高を筆頭にマーケティングを行う。 c：愛知県教育委員会との連携事業で初等中等教育機関に対して、医療をキャリアパスとして描くための出張講義等を実施する。具体的には、次代の医療イノベーターの発掘を目的に「アントレプレナーシップ教育推進事業」や「あいちSTEAM教育推進事業－知の探究講座－」に参画、公開授業や講演を実施し、医工共創学的なアントレプレナーシップ教育とSTEAM教育の両面から医工共創学に関する啓発を行う計画である。 e：教養・専門科目において英語対応授業の開講、および日本語のサポートルームの開設を計画する。	多様な入学者の確保に向けて、入学者選抜制度及び学生募集体制の整備を進めている。入学者選抜については、多様な背景や能力を有する学生を受け入れるため、入試区分や選抜方法、科目設定等に関する検討を進めている。また、男女比の均衡した学生構成の実現を目指し、女子学生の確保に向けた広報方策について検討を行った。令和8年5月に実施した広報イベントへの参加者の男女比は68.1%（15名/22名）が女子学生であった。さらに、愛知県教育委員会との連携を視野に入れながら、初等中等教育機関に対する医工共創学分野の周知・啓発に向けた検討を進めている。キャリア教育センターに医工共創学科担当の教員をおき、次代の医療イノベーター育成を目的としたアントレプレナーシップ教育やSTEAM教育との連携を見据え、高校生が医療と工学を融合した新たなキャリアパスを具体的にイメージできる教育プログラムの企画を進めている。加えて、多様な学生が学びやすい教育環境の整備に向けて、教養科目及び専門科目における英語対応授業の導入について学内関係部署と協議を進めている。	

大学名	藤田医科大学

本事業対象となる学部等の個数	1

１.本事業対象となる学部等の状況

<内訳>

(1)

改組内容	既存学部における学科の新設
学部学科名	医学部 医工共創学科

		年度		R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度	R13年度	R14年度	R15年度	R16年度	R17年度	R18年度	R19年度	R20年度	R21年度	R22年度	R23年度	R24年度	R25年度
		改組状況		選定																		
大区分	小区分	項目	単位																			
	事業計画に定める定員	入学定員	人	-	-																	
		編入学定員	人	-	-																	
学生の入学・在籍状況	春季入学	入学定員	人	-	-																	
		入学者数	人	-	-																	
		女子学生数	人	-	-																	
		社会人学生数	人	-	-																	
		留学生数	人	-	-																	
	その他の学期	入学定員	人	-	-																	
		入学者数	人	-	-																	
		女子学生数	人	-	-																	
		社会人学生数	人	-	-																	
		留学生数	人	-	-																	
	入学者合計	入学定員(A)	人	-	-																	
		入学者数(B)	人	-	-																	
		女子学生数	人	-	-																	
		社会人学生数	人	-	-																	
		留学生数	人	-	-																	
		入学定員充足率（B/A）	倍	-	-																	
	収容定員等	収容定員(C)	人	-	-																	
		編入学定員	人	-	-																	
		在籍者数(D)	人	-	-																	
		編入学者数	人	-	-																	
		収容定員充足率（D/C）	倍	-	-																	
卒業後の状況	卒業者数	卒業者数	人	-	-																	
教員の状況	実務経験のある教員の参画	教員数	人	-	-																	
		授業科目の単位数	単位	-	-																	

大学名	藤田医科大学

２.理･工･農学分野の学位を授与できる学部等（学士課程）の状況

年度				R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度	R13年度	R14年度	R15年度	R16年度	R17年度	R18年度	R19年度	R20年度	R21年度	R22年度	R23年度	R24年度	R25年度
大区分	小区分	項目	単位																			
学生の入学･在籍状況	春季入学	入学定員	人	-	-																	
		入学者数	人	-	-																	
		女子学生数	人	-	-																	
		社会人学生数	人	-	-																	
		留学生数	人	-	-																	
	その他の学期	入学定員	人	-	-																	
		入学者数	人	-	-																	
		女子学生数	人	-	-																	
		社会人学生数	人	-	-																	
		留学生数	人	-	-																	
	入学者合計	入学定員(A)	人	-	-																	
		入学者数(B)	人	-	-																	
		女子学生数	人	-	-																	
		社会人学生数	人	-	-																	
		留学生数	人	-	-																	
		入学定員充足率（B/A）	倍	-	-																	
	収容定員等	収容定員(C)	人	-	-																	
		編入学定員	人	-	-																	
		在籍者数(D)	人	-	-																	
		編入学者数	人	-	-																	
		収容定員充足率（D/C）	倍	-	-																	
卒業後の状況	卒業者数	卒業者数	人	-	-																	
教員の状況	実務経験のある教員の参画	教員数	人	-	-																	
		授業科目の単位数	単位	-	-																	

大学名	藤田医科大学

３.大学（学士課程）の状況

大区分	小区分	項目	単位	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度	R13年度	R14年度	R15年度	R16年度	R17年度	R18年度	R19年度	R20年度	R21年度	R22年度	R23年度	R24年度	R25年度
学生の入学･在籍状況	春季入学	入学定員	人	602	602																	
		入学者数	人	649	614																	
	その他の学期	入学定員	人	0	0																	
		入学者数	人	0	0																	
	入学者合計	入学定員(A)	人	602	602																	
		入学者数(B)	人	649	614																	
		入学定員充足率（B/A）	倍	1.08	1.02																	
	収容定員等	収容定員(C)	人	2,642	2,644																	
		編入学定員	人	0	0																	
		在籍者数(D)	人	2,785	2,781																	
		編入学者数	人	0	0																	
		収容定員充足率（D/C）	倍	1.05	1.05																	

４.外部資金の状況（全学）

年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度	R13年度	R14年度	R15年度	R16年度	R17年度	R18年度	R19年度
改組状況	申請-5年	申請-4年	申請-3年	申請-2年	申請-1年	申請	選定												
項目 / 単位																			
外部資金獲得額 / 千円	3,876,238	3,611,221	2,899,166	3,012,128	3,208,774	3,478,480	3,309,826												

項目	単位	
申請時点の外部資金獲得額平均（過去5年間における各年度の外部資金獲得額のうち最大額及び最小額を除いた残り3年分の平均）(E)	千円	3,277,375
本事業による助成金の額(F)	千円	182,500
フェーズ３の助成期間終了時までに達成する額(E+F×2.5%)	千円	3,281,937

特記事項